

## ● 労働者協同組合介護・障がい支援CFK

### 企業組合から組織変更

労働者組合協同組合介護・障がい支援CFK(理事長：菊地聡／組合員25名)は、高齢化の進行によって増加している独居高齢者が、重度な要介護状態となっても地域において安全に安心して日常生活を送ることができるよう、企業組合として介護保険制度に基づくサービスの充実に加え、障害者総合支援法に基づくサービス業務の提供を行ってきた。

近年、高齢者が住み慣れた地域で暮らしていくためには、介護サービスの他にも高齢者自身の社会参加が重要とされ、高齢者が社会的役割をもつことにより、生きがいや介護予防につながるかとされている。

そこで組合では、利用者の積極的な社会参加に必要な「移動手段」として、福祉有償運送事業<sup>\*1</sup>を行うため、企業組合から労働者協同組合<sup>\*2</sup>に組織を変更した。

2025年以降は団塊の世代が、後期高齢者の年齢に突入し、介護サービスを受ける人口はより一層増加することが見込まれ、介護・障がい者支援の役割はますます重要になる。以前までの企業組合では実践できなかった新しい事業展開から持続可能で活力ある地域社会の実現を目指していく。

#### ※1 福祉有償運送サービス

障がい者や要介護者等を対象に、NPO等の非営利法人や市町村が乗車定員11人未満の自家用自動車(白ナンバー)で行う個別輸送サービス。(企業組合は営利を追求できるため実施不可)

タクシー等の公共交通機関では十分なサービスが確保できない場合に、国土交通大臣の登録を受けることで実施することができる。

#### ※2 労働者協同組合

組合活動から持続可能で活力ある地域社会の実現に資することを目的とする非営利法人。

多様な働き方を実現しつつ、地域の課題に取り組むための選択肢の一つとされ今後、各地域で様々な事業が展開され、我が国の地域づくりの中で重要な役割を担うことが期待されている。

令和4年10月に施行され、全国に75組合が活動している。

- 理事長 菊地 聡
- 組合員 25名
- 住 所 甲府市上石田三丁目8番8号
- 出資金 1,400,000 円



担当：神山